



町内会「花いっぱい運動」で札幌市長表彰

短い夏を惜しむかの様に、色とりどりの花が沿道に咲き、住む人たちはもとより、訪れた人たちにも、憩いと安らぎを与えてくれました。9月2日(火)菊水4・5条2丁目町内会(真鍋義雄会長)に対して、札幌市は、緑の街づくりの一環である「歩道などの花壇美化運動」に、積極的に取り組まれ、地域の緑化に大きく貢献されたとして、上田文雄札幌市長より表彰されました。花いっぱい運動は、年々広がりを見せており町民の生活に、ゆとりと潤いをもたらし、安らぎのあるコミュニティづくりや、まちづくりに大きな役割を果たして居ります。花が、美しい景観になるまでには、土を耕し、花の選定、苗植え、種まき、草取り、水を遣り、生き物を育てる心配や苦勞はつきものですが、咲いた時の感動はひとしをだと思ひます。来年は、私達の町内も挑戦します。



「菊水地区ホームページ」ついに開通

“人情味あふれるさっぽろの下町” 菊水地区のホームページとして、スタッフ一同タイムリーな情報提供に心掛け、地域の皆さんとの情報交流を一層深めて参りますので、宜しくご指導の程をお願い致します。

アドレスは <http://kikusui-net.jp> 又は、「菊水地区」で検索してください。

平成21年度「菊水地区まちづくりネットワーク会議」 事業計画執行状況検討会開催

9月18日(金) 午後4時～平成21年度の事業計画推進状況に関する、検討会が開催されました。ご承知の通り、「菊水地区まちづくりネットワーク会議」では5つの事業部によって、各専門部会を構成し、事業計画の推進と予算執行を行っていますが、21年度も約半年経過したことから、これらの経過報告と今後の進め方等について各役員より、活発な意見交換を行いました。

《総務・企画部》 会議の総務・企画に関すること

- ・ 「菊まちネット」……………年4回を目標に発行すること。
- ・ 菊水地区ホームページ……………開設後は運営管理体制を整え、タイムリーな情報提供を進めること。
- ・ 住民参加型の文体レク活動…パークゴルフ大会の検討

《安全安心部》 地域の安全安心の実践に関すること

- ・ 夜間防犯パトロールの充実……………必要な機材を補充・整備
- ・ 青色回転灯パトロールの充実……………資機材の整備とガソリン代を支給。継続的かつ確実に実施する
- ・ 地域が一体となった安全安心……………町内会や団体、一般市民にも、自転車パトロールの協力参加お願いするの取り組み一層の推進

《福祉部》 地域の福祉充実に関すること

- ・ 「お年よりと子どもの交流会」の開催……………諸般の事情から中止することになりました
- ・ 「菊水地区雪中運動会」の開催……………平成22年2月開催予定
- ・ 子育てサロンの充実……………「どんぐりこころ」「ぷりんぷりん」

《環境・文化部》 地域の環境美化・文化活動に関すること

- ・ 地域の環境美化の推進……………春・夏・秋の一斉清掃運動に合わせ、町内会、各団体が協力して環境美化に努める事。平成22年度は歩道の柘花壇についても、考えて欲しい
- ・ 「写真コンテスト」の開催……………「菊水の隠れた魅力の発見」をテーマにコンテストを開催する

《情報部》 地域市民への情報活用に関すること

- ・ パソコン教室の開催……………初心者向けの基礎技術を習得する講座や、インターネット検索方法の習得講座を開催
- ・ パソコン勉強会の開催……………DVD教材を活用し、住民同士がお互いにパソコン操作の解らないところを教えあう自主的な勉強会を開催する

第1回 菊水地区「青少年を見守る店」

情報交換会開催

10月27日(火)午後6時30分より、菊水地区会館において、第1回菊水地区「青少年を見守る店」情報交換会が開催されました。これは、地域の青少年の健全育成を目指し活動をしている、青少年育成委員会が主催したもので、札幌市では、「心豊かな青少年をはぐくむ札幌市民運動」の一環として、子ども達を見守る市民ネットワークづくりのため「青少年を見守る店」協力店の登録運動を推進しております。菊水地区では、この協力店の登録件数が122件に達し、今後『地域の子ども達の見守り活動に関わる関係団体が、横断的なネットワークを組織し、連携・役割分担・協力を図ることにより、地域が一体となって子ども達の健やかな成長を見守り、はぐくんで行く』そんなまちづくりを進めるためにも、長年にわたり実践して来られたオーナー様との情報交換をお願いしたものです。今後は、交換会を継続的に実施し、地域の見守り活動に繋げていきたいとのことです。



第2回「写真コンテスト」開催～菊水の魅力を発見しよう～

11月17日(水)第2回「写真コンテスト」が開催されました。これは、「菊水地区まちづくりネットワーク会議」環境・文化部が主催したのですが、例年恒例の「高齢者のふれあい交流会」開催に合わせ、参加者に写真を楽しんで頂こうと、地域の写真愛好家に出品をお願いしましたが、素人離れした素晴らしい作品が数多く出品されました。入賞は、最優秀賞1名、優秀賞3名、の方が選ばれ、表彰状と記念品が渡されました。今や、写真は特殊な技術や知識(後で付いてくる)が必要ではありません。写したいと感じたり、感動した被写体を選び、まずシャッターを押す。そして、自分で観賞したり、皆んで観賞する。写す人が感動したものは、見る人にも感動を与えるのではないのでしょうか。多くの人に観賞して頂くことが目的ですので、地域の皆さんの参加をお待ちしています。又、今回は、地域の方のご好意で、ステンドグラス、パッチワーク、手づくりカバンを、写真の展示コーナーに花を添えて下さいました。ご協力頂いた、皆様にお礼申し上げます。



祝

札幌市立幌東中学校 開校60周年記念式典挙行

9月29日(火)札幌市立幌東中学校の開校60周年記念式典【10月2日(金)祝賀会】が同校体育館で挙行されました。当日は歴代の校長を始め、PTA役員、OB等々、多くの関係者の出席がありました。学校長 修田摂先生は式辞の中で、『校風や伝統は一朝一夕に出来るものではなく、長い期間を経て培われるものです。一日一日の時の積み重ねにより創り上げられて行くものではないでしょうか』との話がありました。今回は、記念式典と学校祭(第55回)の開会式を兼ねて実施され、生徒会が主体となって全面的に司会・進行を務め、特徴のある素晴らしい式典になりました。

た。学校祭のテーマが「インフィニティ」で“だれでも無限の可能性を持っているからこそ、この学校祭で発揮しよう”と言う意味が、込められていたそうです。

特に、同校の沿革を『映像で振り返る』では、素晴らしい昔の校舎の中庭、校章の由来、・・・OB達にとっては懐かしいものばかり。スライドの説明では、同窓会長の“先輩からのメッセージ”(在学中、数々の思い出話し)を中に折込、現役生徒と先輩OBとの連携による説明は、歴史と伝統を感じ、感動する場面が演出されていました。



「菊水地区まちづくりネットワーク会議」ってなんですか？

札幌市では、平成19年4月に「自治基本条例」が施行されました。これは市民が主役になって「まちづくり」を進めるためのルールです。市民、議会、行政のそれぞれの役割や、仕組みが規定されています。「だれかがするだろう」「それは行政の仕事だ」と無関心でいるのではなく、ひとりでも多くの市民が参加し「自分達の地域は自ら考え、皆と一緒によりよくしていく」そして「行政と連携・協働しながら地域づくりをして行く」これが「住民自治」であり「菊水地区まちづくりネットワーク会議」です。地域のことは、地域に住む人が一番よく知っています。困っていることがあれば、まず自分達でやってみる、必要なら行政と協力して問題を解決して行く、これが「住民自治」です。



AEDについて・・・AEDを日本語に訳すと『自動体外式除細動器』どちらを聞いても、何のことやら意味不明。・・・でも、流石に近頃は少し解ってきた。救急救命の講習会を受講したり、役所や学校で「AED設置」の表示見かけるようになって来たお陰で。ご承知のように、心室細動(心臓が脈では無く、振動状態)の時、電気ショックを与え、それを回復させる装置(除細動と言う)ですが、この心室細動状態を放置すると、1分過ぎる毎に10%ずつ生存率が落ちて行くため、遅くても、7~8分以内の手当てが必要になる訳です。しかし、この設置している所が学校や役所では夜間も休日は閉鎖されますので使えません。従って、一家に1台常備と言いたい所ですが、30~40万もする為、消火器のように常備とは行きません。24時間となれば・・・さて? 「レンタル方式」で「コンビニに設置をお願い」するしか? 無いのかな。